

高齢者の皆さんに働く場を！

～葉山町生きがい事業団～

ハチの駆除など新規事業も

団塊世代の大量退職を控え、受け皿づくりを強化



高齢者の皆さんに働く機会を提供し、元気で充実した老後を送っていたらこうと、「葉山町生きがい事業団」がスタートして、今年四月で九年目を迎えます。

この間の地道な努力が実り、事業団への会員登録数は、発足当初に比べて大幅に増え、仕事の依頼件数も着実に伸びています。

そうした中、これからは定年を迎えた団塊世代の大量退職が始まります。そこで、生きがい事業団では団塊世代を積極的に受け入れるため、PR活動の強化や新規事業の開拓など意欲的な取り組みを進めていきます。

歩み

葉山町生きがい事業団は、高齢者の

皆さんに、これまでの経験や知識が生かせる仕事を提供し、働くことを通して長い老後を生き生きと過ごしていただき、併せて活力ある地域社会づくり



に寄与する目的で、平成十一年に設立され、四月から業務を開始しました。生きがい事業団は、家庭や事業所、公共団体などから有償で仕事を引き受け、これを登録した会員に提供することを主な業務としています。

そのため、仕事の発注者と会員の間には直接の雇用関係はなく、報酬の支払いは事業団を介して行われます。

会員になるには、町内に住む六〇歳以上の人で、これまでに全対象者の二%強に当たる二二四人(男性一八八人、女性三六人)が会員登録をしています

(平成十八年十一月一日現在)。発足した当初の会員数は五〇数人でしたから、この八年間で約四倍に増えました。高齢者の皆さんが葉山町生きがい事業団に寄せる関心と期待の高さがうかがえます。

■ 仕事の内容

葉山町生きがい事業団が窓口になって受注する仕事も毎年、順調に増え続けています。

昨年、一年間で受注件数は一、〇〇〇件を超えました。

また、事業団の発足後しばらくの間は、仕事の依頼の多くは町などの公共団体でしたが、最近では受注金額の六割を家庭や事業所など民間からの仕事で占め、流れが大きく変わりつつあります。

一方、事業団が受注する仕事の内容も、植木の手入れをはじめ、駐車場の管理、障子の張替え、塗装、児童・生徒の登下校時の交通整理、筆耕(毛筆での宛名書き)などさまざまです。

その中でも、最も多いのが植栽関係の仕事です。緑が豊かな土地柄を反映して、家の庭木や公園などの樹木の剪定や伐採、さらには草刈りといった仕事が多くあり、現在では生きがい事業団が請け負う仕事の八割近くを占めています。

また、夏の海開きの会場設営、海水



浴シーズン中の海岸近くの駐車場管理など、海に恵まれた葉山ならではの仕事もあります。

■ 新規事業の開拓

葉山町生きがい事業団では、会員に多くの就業の場を提供するため、新規事業の開拓にも力を入れています。

その一つとして、本年度からは新たに人に危害を及ぼす恐れのあるハチの駆除の仕事を始めました。

最近では、町内でもスズメバチなどの活動が活発です。巣もあちこちで見つかり、刺される被害も出ています。

これまでハチの駆除は、町のクリーンセンターが窓口となって駆除の要望を受け付け、さらに専門業者に巣の除去などを依頼する形で行われてきましたが、昨年四月からは生きがい事業団がハチの駆除作業に当たっています。

初年度は、ほぼ一年間で、スズメバチとアシナガバチとミツバチを合わせて一四〇件近い駆除の依頼があり、ハチ退治に大きな成果を上げました。

同事業団では「他の自治体の生きがい事業団やシルバー人材センターでも、ハチの駆除はあまり聞いたことがない」(林勲重・事務局長)と話しており、葉山の試みは全国的にも大変珍しいようです。

■ 団塊世代への対応

これからは終戦後すぐに生まれた、団塊の世代が次々と定年を迎え、大量退職の時代が始まります。

これに対応して、団塊世代の高齢者を積極的に受け入れるため、生きがい事業団では町の広報紙などによるPR活動の強化や会員募集のチラシの配布など、さまざまな取り組みの準備を進めています。

■ 今後の展開

この八年間で会員数を大幅に拡大し、また会員の丁寧な仕事ぶりなどが



評価されて、仕事の依頼も増えるなど順調な歩みを続けてきました。

しかし、解決しなければいけない課題も抱えています。

その一つが、事務系の仕事の開拓です。例えば、登録した会員の中には、パソコン操作が得意な人も数多くいますが、葉山には会社や事業所が少ないために、パソコンなどを利用した事務系の仕事の依頼は、ほとんどないのが現状です。

一方、団塊世代の大量退職に伴い、事務系の仕事を得意とする会員が急増することも予想されます。従って、今後はこうした分野の仕事の開拓が急務と言えるでしょう。

生きがい事業団が

「地域ボランティア活動」

樹木さっぱり、町の美化に協力
葉山小学校前など町内三カ所

葉山町生きがい事業団主催の「地域ボランティア活動」が一月二五日、福祉文化会館と保健センターの敷地内、それに葉山小学校前の河川周辺の町内三カ所で行われました。

事業団がPRと感謝の心を込めて、年一回開いているもので、この日は会員登録をしている高齢者の皆さん四七人が参加しました。

葉山小学校前の地域ボランティア活動では、会員たちがチェーンソーなどを使って、河川周辺のフェンスや樹木の幹



にからみついていているヤブガラシを次々と切除しました。また桜の木に登り、テングス病にかかっている枝を伐採しました。

朝の八時半過ぎから正午近くまで、伐採作業に汗を流したベテラン会員は「危険な箇所もあったので気を遣ったが、近所の人から『ありがとう、ご苦労さま』と感謝され、苦勞も吹き飛びました」と顔をほころばせ、保健センターでのボランティア活動に参加した別の会員も「伸び放題の木々が、散髪後のようにさっぱりして、きれいななった。地域美化のお役に立ててうれしい」と感想を語っていました。

「今回は、時間が足りなく完全な作業ができなくて、残念でした。今後とも作業を検討していきたいと考えています。」

(林勲重・事務局長)

葉山町生きがい事業団の設立まで

日付	内容
昭和61年10月	「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」が施行
平成4年9月	葉山町では、社会福祉協議会で生きがい対策事業が始まる
平成10年9月1日	設立準備委員会立ち上げ
平成11年2月22日	設立総会
平成11年4月1日	事業団の事業運営開始

基本理念

「自主・自立・共働・共助」の理念のもと、高齢者が就業を通じて福祉の増進を図りながら自主的に運営される団体であり、活力ある地域社会作りに寄与することを目的としている

問合せ 葉山町生きがい事業団

☎八七七―一五五五